

全国国立大学附属学校PTA連合会 平成29年度団体表彰エントリー

所属学校名	福島大学附属中学校		
PTA名称	福島大学附属中学校父母と教師の会	会長名	板倉 雄一郎
応募部門	事業部門		
事例名称	保護者による授業 プロフェッショナル～仕事の流儀～		

<趣旨及び目的>

NHKの「プロフェッショナル～仕事の流儀～」を参考に、生徒の仕事や社会に対する考察を深める授業とするために、保護者から講師を募って、身近な大人から「仕事」に関する授業を行った。仕事に対しての情熱ややりがい、生きていく上で仕事がどのような意味をもつのかを生徒に理解させること、また、生徒と保護者の絆を深めるための授業とすることを目的とした。

<開催日時>

平成29年11月25日（土） 10:50～11:40（土曜授業を活用）

<実施方法>

保護者より12名の全クラス分の講師を募り（特に職種に関して指定は行わず）、講師を引き受けてもらった方には、授業準備のために学校にて事前打合せを行った。当日は担任が補助者となり、各学級に担当の保護者が入って『仕事について』というテーマで、内容はフリーで授業を行った。

<実施成果>

実際に集まった講師（保護者）の職業は、医師、薬剤師、税理士、公務員、女性経営者、TV局社員、団体職員、住職など多岐にわたっていた。授業についてはプレゼンテーションソフトや、写真、実際に仕事で使っている道具、シミュレーションなどを使い、どれも工夫と情熱に満ちあふれたものであった。内容もその職業の人でなければ分からないものばかりで、生徒は具体的に、働く上で必要な能力、心構え、やりがい等を学ぶことができたようである。また、教師にとっても学びの多い時間となった。授業を終えた講師からの「やってよかった」という感想が印象的であった。今回は初めての試みのため、準備や進め方に改善すべき点があった。保護者による授業は、実体験による仕事の話であり、どれも生徒・教師にとって興味深いものであり、『生徒』『教師』『保護者』の全てに良い経験（学びの場）を提供できた。今後も改善しながら続けていきたい。



